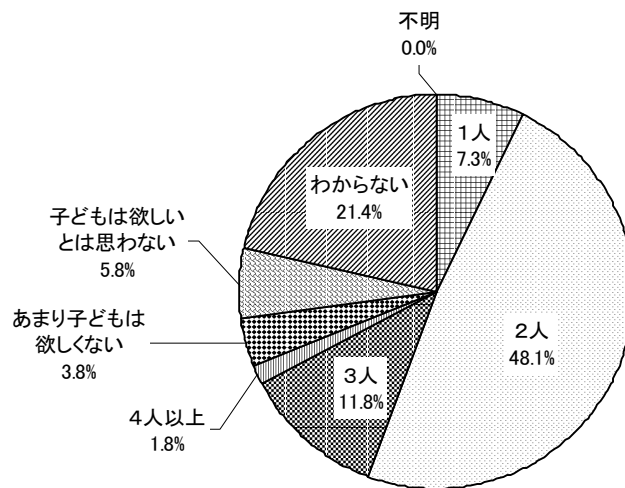


(5) 欲しい子どもの人数

欲しい子どもの人数についてみると、「2人」(48.1%)が最も多く、約半数を占めている。次いで「3人」(11.8%)、「1人」(7.3%)となっている一方で、「あまり子どもは欲しくない」(3.8%)、「子どもは欲しいとは思わない」(5.8%)と子どもを持つことに非積極的な人が9.6%いる。また、年齢的にまだ実感がないと考えられることもあり、「わからない」といった人も21.4%いる。

「あまり子どもは欲しくない」、「子どもは欲しいとは思わない」と回答した人を0人とし、「わからない」と回答した人は除いて計算した欲しい子どもの数の平均は1.86人、子どもが欲しいと回答した人のみの平均は2.12人となっている。

図表 3 - 1 - 46 欲しい子どもの数 (単数回答 n=1,010)



就学・男女別にみると、どの属性の人も「2人」を希望している人が最も多く、全体の約41～53%を占めている。それ以外では、他と比較して、男子中学生で「わからない」(33.6%)とする人が多くなっている。

欲しい子どもの人数の平均をみると、わからない人も0人として含めて全数で計算すると、1.46人、女子中学生1.60人、女子高校生1.61人、男子中学生1.26人、男子高校生1.36人と女性の方がやや欲しい子どもの人数が多いことがわかる。

また、わからない人を除いた平均でみると、全体の平均は1.86人、男子中学生、女子中学生、女子高校生が1.9人前後、男子高校生が1.78人となっており、就学状況差、男女差が小さくなっている。

図表3-1-47 中高生男女別 欲しい子どもの人数（単数回答）

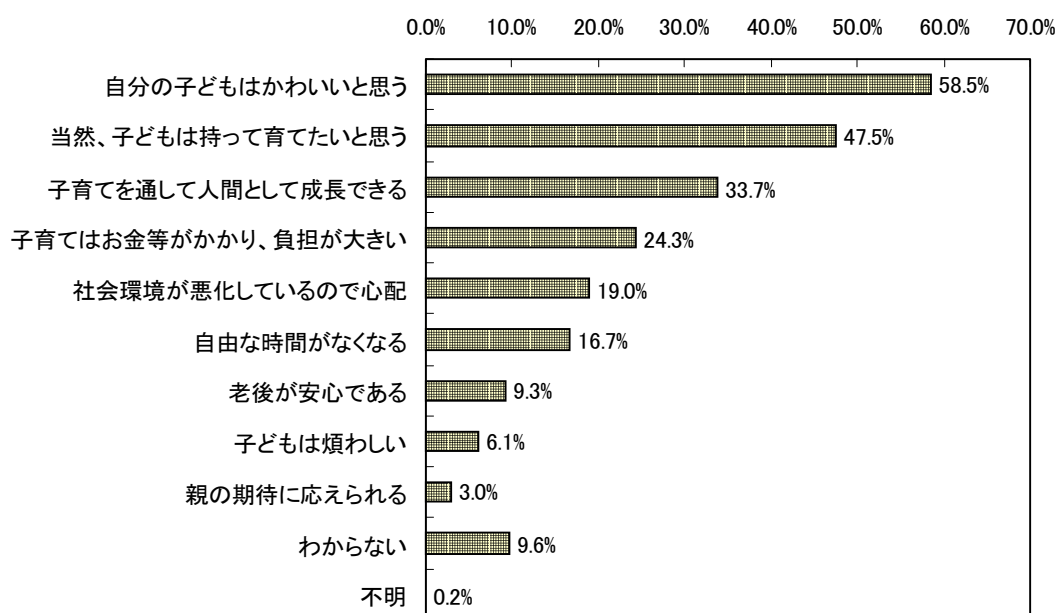
就学・男女別	合計	Q15. 欲しい子どもの人数								平均	平均 (わからない人を除く)
		1人	2人	3人	4人以上	あまり子どもは欲しいしくない	子どもは欲しいとは思わない	わからない	不明		
全体	1010 100.0	74 7.3	486 48.1	119 11.8	18 1.8	38 3.8	59 5.8	216 21.4	0 0.0	1.46	1.86
中学生・男性	250 100.0	11 4.4	103 41.2	26 10.4	5 2.0	11 4.4	10 4.0	84 33.6	0 0.0	1.26	1.90
中学生・女性	254 100.0	22 8.7	124 48.8	39 15.4	5 2.0	7 2.8	16 6.3	41 16.1	0 0.0	1.60	1.91
高校生・男性	250 100.0	20 8.0	124 49.6	23 9.2	1 0.4	13 5.2	11 4.4	58 23.2	0 0.0	1.36	1.78
高校生・女性	256 100.0	21 8.2	135 52.7	31 12.1	7 2.7	7 2.7	22 8.6	33 12.9	0 0.0	1.61	1.85

(6) 子どもを持つことに対するイメージ

子どもを持つことに対するイメージをみると、「自分の子どもはかわいいと思う」が58.5%で最も多くあげられており、次いで「当然、子どもは持って育てたいと思う」(47.5%)、「子育てを通して人間として成長できる」(33.7%)が多く、子育てに対して肯定的なイメージを持っている人が多い。

一方で、「子育てはお金等がかかり、負担が大きい」(24.3%)、「社会環境が悪化しているので心配」(19.0%)、「自由な時間がなくなる」(16.7%)といった子育てに対して否定的または不安なイメージも2割程度ずつあげられている。

図表 3 - 1 - 48 子どもを持つことに対するイメージ (複数回答 n=1,010)



就学・男女別にみると、他と比較して、男子中学生で「わからない」（17.6%）とする人が多く、結婚と同様に具体的なイメージが持てない人が多いことがうかがえる。また、「自分のこどもはかわいいと思う」（47.6%）をあげる人も少なくなっている。

一方、女子中学生は男子中学生と比較して肯定的なイメージをあげる人が多いものの、「自由な時間がなくなる」（19.3%）といった否定的な意見をあげる人がやや多くなっている。

男子高校生では「子育てはお金等がかかり、負担が大きい」（26.8%）をあげる人が多く、子どもを持ったときの現実的なイメージを抱いている人が多いのではないかと推測される。

また、女子高校生については、肯定的なイメージをあげている人が全体的に多くなっている。特に「自分の子どもはかわいいと思う」（65.2%）、「子育てを通して人間として成長できる」（39.1%）をあげる人が、他と比較して多くなっている。一方で、「自由な時間がなくなる」（19.9%）、「子育てはお金等がかかり、負担が大きい」（26.2%）といった否定的な意見をあげる人も比較的多く、男子高校生と同様に遠くない現実としてのイメージを持っていることがうかがえる。

図表 3 - 1 - 49 就学・男女別 子どもを持つことに対するイメージ（複数回答）

就学・男女別	合計	Q16. 子どもを持つことへのイメージ										
		当然、子どもは持って育てたいと思う	自分の子どもはかわいいと思う	老後が安心である	子育てを通して人間として成長できる	親の期待に応えられる	自由な時間が無くなる	子育てはお金等がかかり、負担が大きい	子どもは煩わしい	社会環境が悪化しているの心配	わからない	不明
全体	1010	480	591	94	340	30	169	245	62	192	97	2
	100.0	47.5	58.5	9.3	33.7	3.0	16.7	24.3	6.1	19.0	9.6	0.2
中学生・男性	250	112	119	29	72	12	35	57	13	46	44	0
	100.0	44.8	47.6	11.6	28.8	4.8	14.0	22.8	5.2	18.4	17.6	0.0
中学生・女性	254	124	153	15	89	3	49	54	19	44	18	2
	100.0	48.8	60.2	5.9	35.0	1.2	19.3	21.3	7.5	17.3	7.1	0.8
高校生・男性	250	118	152	25	79	8	34	67	17	52	23	0
	100.0	47.2	60.8	10.0	31.6	3.2	13.6	26.8	6.8	20.8	9.2	0.0
高校生・女性	256	126	167	25	100	7	51	67	13	50	12	0
	100.0	49.2	65.2	9.8	39.1	2.7	19.9	26.2	5.1	19.5	4.7	0.0

(7) 希望する子育ての方針

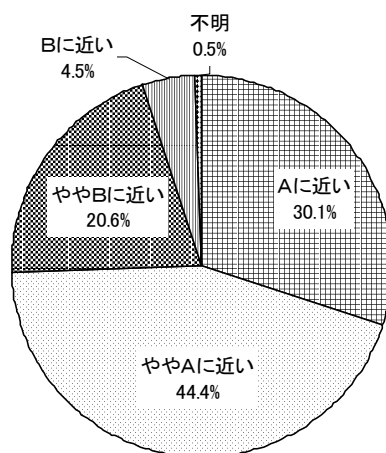
しつけについての方針をみると、「A：子どもの自主性を尊重し、子どもの自由に育てたい」人が30.1%、Aにやや近い人が44.4%と全体の74.5%が自主性を尊重した子育てを希望している。

一方、「B：自分が子どものためによいと思うしつけや教育をしたい」人が4.5%、Bにやや近い人が20.6%となっている。

図表 3 - 1 - 50 希望する子育ての方針（単数回答 n=1,010）

A：子どもの自主性を尊重し、子どもの自由に育てたい

B：自分が子どものためによいと思うしつけや教育をしたい



(8) 子どもとの時間の持ち方

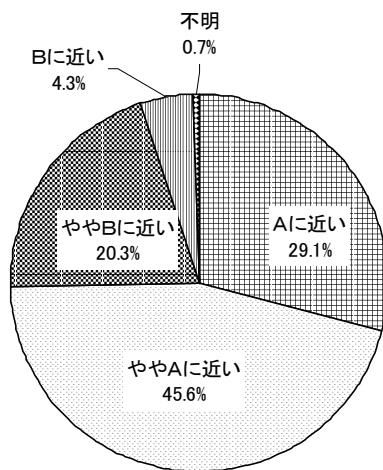
子どもとの時間の持ち方についてみると、「A：できるだけ子どもとの時間を多く取りたい」とする人が29.1%、Aにやや近い人が45.6%と、子どもとの時間をできるだけ多く持ちたいとする人が全体の74.7%を占めている。

一方、「B：子育て中も、自分のために使う時間を多く取りたい」とする人が4.3%、Bにやや近い人が20.3%となっている。

図表 3 - 1 - 51 子どもとの時間の持ち方（単数回答 n=1,010）

A：できるだけ子どもとの時間を多く取りたい

B：子育て中も、自分のために使う時間を多く取りたい



4. 両親について

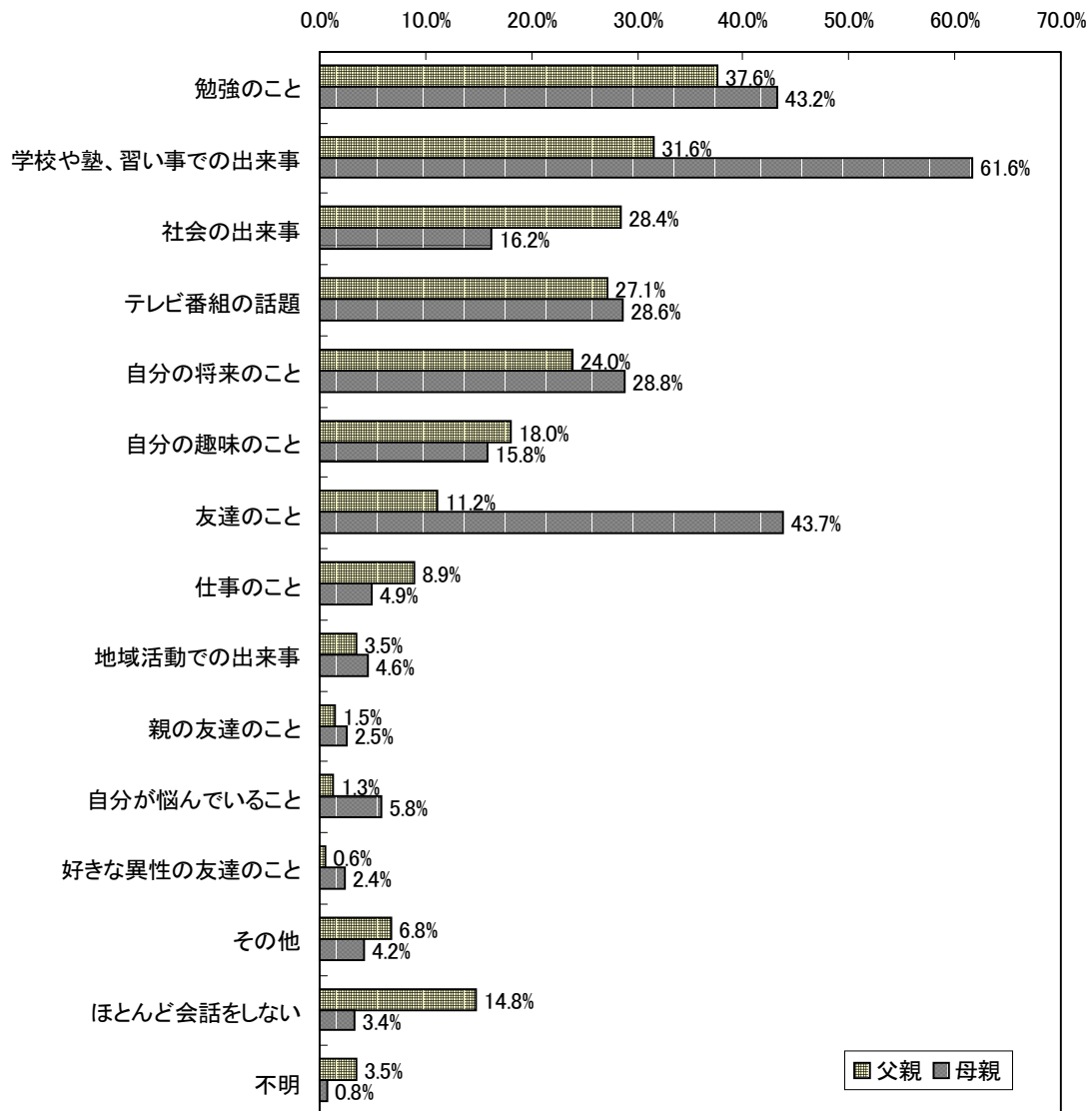
(1) 両親との会話

父親や母親との会話の話題についてみると、父親との話題で上位にあげられたものは、「勉強のこと」(37.6%)、「学校や塾、習い事での出来事」(31.6%)、「社会の出来事」(28.4%)となっている。一方で、「ほとんど会話をしない」人も14.8%いる。

母親との話題で上位にあげられたものは、「学校や塾、習い事での出来事」(61.6%)、「友達のこと」(43.7%)、「勉強のこと」(43.2%)となっている。「ほとんど会話をしない」人は3.4%と少なく、母親の方が父親に比べて、会話が多いことがうかがえる。特に、「学校や塾、習い事での出来事」や「友達のこと」については、母親と父親では30%以上の開きが見られる。

一方で、「社会の出来事」、「自分の趣味のこと」、「仕事のこと」については、母親より父親と話題にしている割合が若干高く、父親と母親との会話の内容がやや異なることがうかがえる。

図表 3 - 1 - 52 両親との会話（複数回答 n=1,010）



就学・男女別にみると、他と比較して、男子中学生では、父親、母親ともに会話の内容として「勉強のこと」（父親：42.4%、母親：52.4%）、「自分の趣味のこと」（父親：26.8%、母親：20.8%）をあげる人が多くなっている。

女子中学生では、父親との会話では「友達のこと」（15.4%）、「勉強のこと」（43.7%）をあげる人が多くなっている。母親との会話では「学校や塾、習い事での出来事」（69.7%）、「友達のこと」（53.9%）をあげる人が多くなっている。

男子高校生では、父親、母親ともに「自分の将来のこと」（父親：35.2%、母親：34.0%）、「仕事のこと」（父親：16.8%、母親：8.0%）、「社会の出来事」（父親：34.0%、母親：24.8%）をあげる人が多くなっている。一方、「学校や塾、習い事での出来事」（父親：23.6%、母親：46.8%）をあげる人が少なくなっている。

女子高校生では、父親とはほとんど会話をしない人（21.5%）が多くなっている。一方、母親との会話では「自分の将来のこと」（35.2%）、「仕事のこと」（7.8%）をあげる人が多くなっており、男性より女性の方が父親、母親それぞれに対する会話の内容が異なっていることがうかがえる。

図表 3 - 1 - 53 就学・男女別 父親との会話（複数回答）

就学・男女別	合計	Q18-1. 父親との話の内容								
		学校や塾、習い事での出来事	地域活動での出来事	友達のこと	勉強のこと	自分の趣味のこと	自分の将来のこと	好きな異性の友達のこと	仕事のこと	親の友達のこと
全体	1010 100.0	319 31.6	35 3.5	113 11.2	380 37.6	182 18.0	242 24.0	6 0.6	90 8.9	15 1.5
中学生・男性	250 100.0	85 34.0	16 6.4	29 11.6	106 42.4	67 26.8	59 23.6	2 0.8	19 7.6	3 1.2
中学生・女性	254 100.0	96 37.8	7 2.8	39 15.4	111 43.7	36 14.2	42 16.5	0 0.0	9 3.5	4 1.6
高校生・男性	250 100.0	59 23.6	11 4.4	19 7.6	85 34.0	54 21.6	88 35.2	4 1.6	42 16.8	5 2.0
高校生・女性	256 100.0	79 30.9	1 0.4	26 10.2	78 30.5	25 9.8	53 20.7	0 0.0	20 7.8	3 1.2

就学・男女別	合計	父親との話の内容					
		自分が悩んでいること	テレビ番組の話題	社会の出来事	その他	ほとんど会話をしない	不明
全体	1010 100.0	13 1.3	274 27.1	287 28.4	69 6.8	149 14.8	35 3.5
中学生・男性	250 100.0	3 1.2	70 28.0	66 26.4	14 5.6	23 9.2	8 3.2
中学生・女性	254 100.0	2 0.8	83 32.7	68 26.8	19 7.5	35 13.8	7 2.8
高校生・男性	250 100.0	5 2.0	44 17.6	85 34.0	18 7.2	36 14.4	9 3.6
高校生・女性	256 100.0	3 1.2	77 30.1	68 26.6	18 7.0	55 21.5	11 4.3

図表 3 - 1 - 54 就学・男女別 母親との会話（複数回答）

就学・男女別	合計	Q18-2. 母親との話の内容								
		学校や塾、習い事での出来事	地域活動での出来事	友達のこと	勉強のこと	自分の趣味のこと	自分の将来のこと	好きな異性の友達のこと	仕事のこと	親の友達のこと
全体	1010 100.0	622 61.6	46 4.6	441 43.7	436 43.2	160 15.8	291 28.8	24 2.4	49 4.9	25 2.5
中学生・男性	250 100.0	163 65.2	14 5.6	89 35.6	131 52.4	52 20.8	57 22.8	2 0.8	4 1.6	4 1.6
中学生・女性	254 100.0	177 69.7	8 3.1	137 53.9	112 44.1	34 13.4	59 23.2	9 3.5	5 2.0	8 3.1
高校生・男性	250 100.0	117 46.8	16 6.4	91 36.4	99 39.6	40 16.0	85 34.0	4 1.6	20 8.0	6 2.4
高校生・女性	256 100.0	165 64.5	8 3.1	124 48.4	94 36.7	34 13.3	90 35.2	9 3.5	20 7.8	7 2.7

就学・男女別	合計						
		自分が悩んでいること	テレビ番組の話題	社会の出来事	その他	ほとんど会話をしない	不明
全体	1010 100.0	59 5.8	289 28.6	164 16.2	42 4.2	34 3.4	8 0.8
中学生・男性	250 100.0	6 2.4	78 31.2	40 16.0	8 3.2	11 4.4	2 0.8
中学生・女性	254 100.0	23 9.1	68 26.8	24 9.4	13 5.1	6 2.4	0 0.0
高校生・男性	250 100.0	13 5.2	69 27.6	62 24.8	10 4.0	13 5.2	4 1.6
高校生・女性	256 100.0	17 6.6	74 28.9	38 14.8	11 4.3	4 1.6	2 0.8

(2) 両親の現在の就業状況、未就学時の就業状況

現在の親の就業状況についてみると、父親、母親ともに「勤めに出ている」、または「自営業」という「共働き」が最も多く、51.8%と半数を占めている。

一方、どちらかが「勤めに出ている」、または「自営業」で、どちらかが「働いていない」という、「専業主婦（夫）」は30.3%となっており、その大半は母親が「働いていない」といった専業主婦となっている。

その他では、どちらかが「勤めに出ている」、または「自営業」で、もう一方が「内職や在宅勤務などで家にいる」という、「どちらかが自宅で仕事」が8.0%、父親がいない母子家庭で母親が「勤めに出ている」が4.8%となっている。

小学校就学前の親の就業状況についてみると、「共働き」は22.7%、「専業主婦（夫）」は65.2%となっており、「専業主婦（夫）」が「共働き」と比較して多くなっている。

また、小学校就学前から現在の就業状況の変化についてみると、「専業主婦（夫）」から共働き（32.4%）が最も多く、現在共働きの世帯は、母親が小学校入学以降に就労を始めている世帯が多いことがうかがえる。次いで「ずっと専業主婦（夫）」（25.1%）が多くなっている。

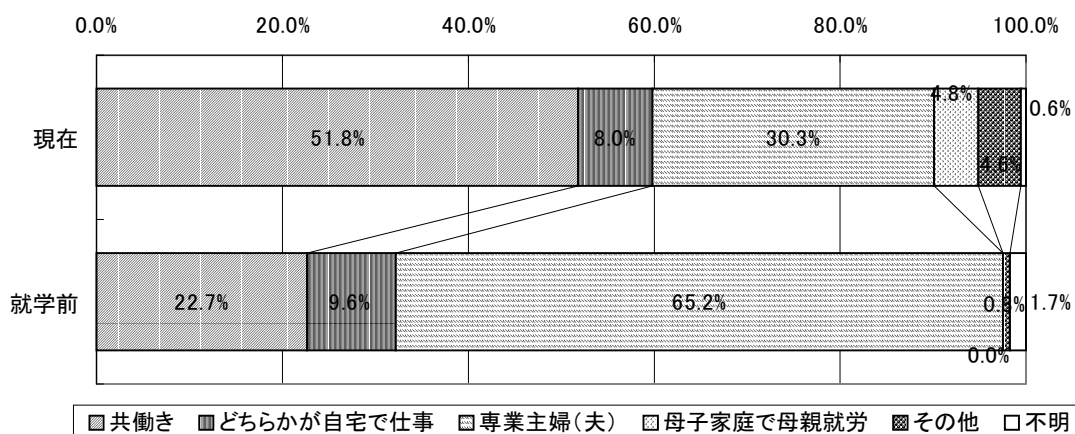
現在「専業主婦（夫）」の大半は、就学前も「専業主婦（夫）」であった。

一方、就学前は「共働き」であった世帯も4.7%いる。

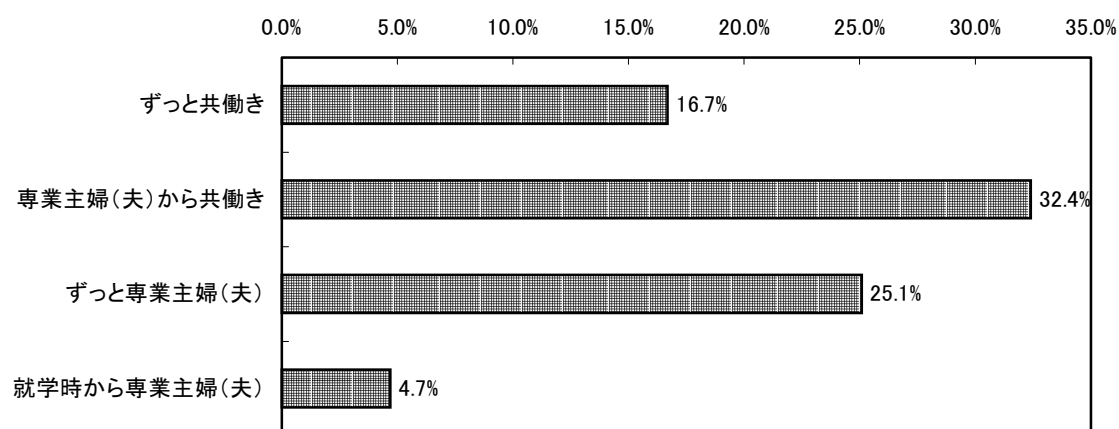
都市規模別に親の就業状況の変化をみると、「町村」において、「ずっと共働き」（24.1%）が多くなっている。

以上の親の現在の就業状況及び就学前の就業状況の変化より、子どもが小学校に上がる前は母親が自宅におり、子どもが小学校に入学以降に外に働きに出るといったケースが多いことが推測される。

図表 3 - 1 - 55 現在及び小学校就学前の親の就業状況（単数回答 n=1,010）



図表 3 - 1 - 56 両親の就業状況の変化（単数回答 n=1,010）



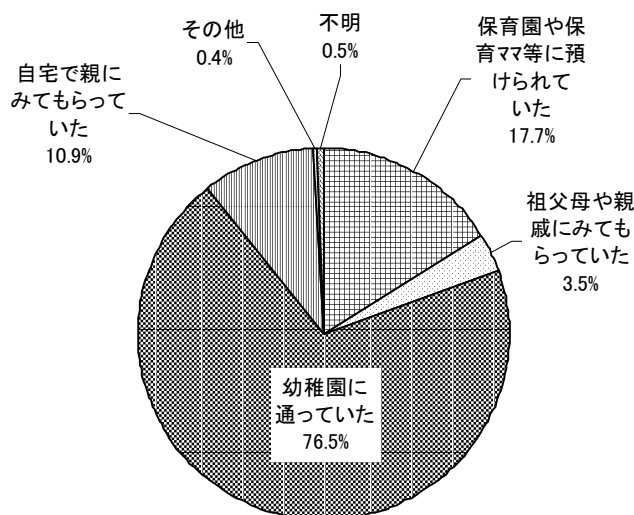
図表 3 - 1 - 57 居住都市規模別 両親の就業状況の変化（単数回答）

Q1-2. 居住エリアの規模区分	合計	両親の就業状況の変化			
		ずっと共働き	専業主婦(夫)から共働き	ずっと専業主婦(夫)	就学時から専業主婦(夫)
全体	1010	169	327	254	47
	100.0	16.7	32.4	25.1	4.7
①東京特別区・政令指定都市（大都市）	235	30	83	62	12
	100.0	12.8	35.3	26.4	5.1
②①以外の15万人以上の市（中都市）	298	38	98	83	14
	100.0	12.8	32.9	27.9	4.7
③15万人未満の市（小都市）	265	50	81	65	14
	100.0	18.9	30.6	24.5	5.3
④町村	212	51	65	44	7
	100.0	24.1	30.7	20.8	3.3

(3) 就学前の保育の状況

小学校に上がる前の保育の状況をみると、母親が専業主婦である場合が多いこともあり、「幼稚園に通っていた」人が 69.9%で最も多い。次いで「保育園や保育ママ等に預けられていた」（16.2%）、「自宅で親にみてもらっていた」（9.9%）となっている。

図表 3 - 1 - 58 就学前の保育の状況（単数回答 n=1,010）



両親の就業状況の変化別にみると、「ずっと共働き」だった人は、他と比較して「保育園や保育ママ等に預けられていた」（54.4%）、「祖父母や親戚にみてもらっていた」（11.8%）が多くなっている。「専業主婦（夫）から共働き」、「ずっと専業主婦（夫）」の人は、「幼稚園に通っていた」（86.9%、85.8%）、「自宅で親に見てもらっていた」（12.8%、13.8%）が多くなっている。

図表 3 - 1 - 59 両親の就業状況の変化別 就学前の保育の状況（単数回答）

両親の就業状況の変化	合計	Q20-3. 小学校入学前の自分					
		保育園や保育ママ等に預けられていた	祖父母や親戚にみてもらっていた	幼稚園に通っていた	自宅で親にみてもらっていた	その他	不明
全体	1010 100.0	179 17.7	35 3.5	773 76.5	110 10.9	4 0.4	5 0.5
ずっと共働き	169 100.0	92 54.4	20 11.8	78 46.2	12 7.1	2 1.2	0 0.0
専業主婦（夫）から共働き	327 100.0	17 5.2	1 0.3	284 86.9	42 12.8	1 0.3	1 0.3
ずっと専業主婦（夫）	254 100.0	12 4.7	3 1.2	218 85.8	35 13.8	1 0.4	2 0.8
就学時から専業主婦（夫）	47 100.0	22 46.8	4 8.5	28 59.6	3 6.4	0 0.0	0 0.0

(4) 親に対する評価

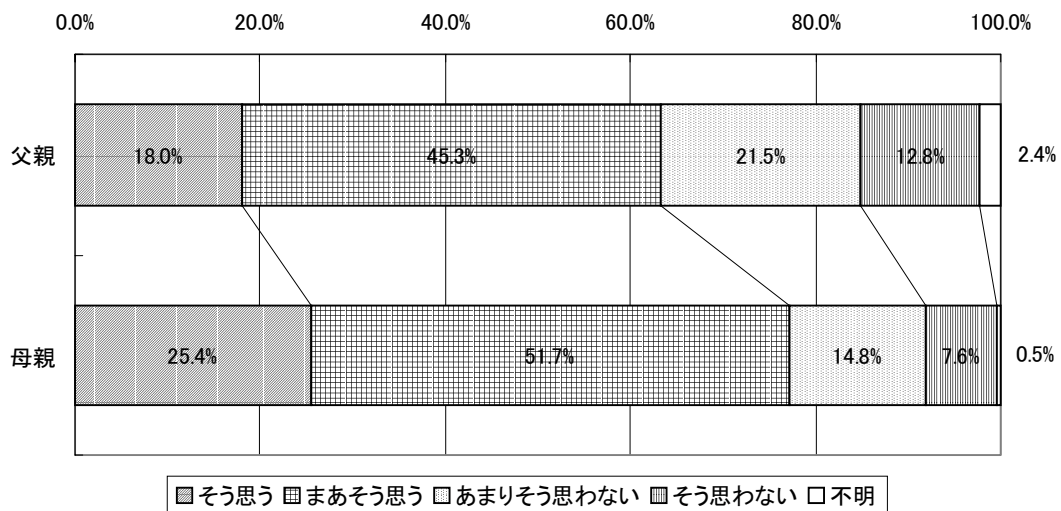
①自分に対する理解度

自分のことを理解してくれているかについてみると、父親に対しては、「そう思う」(18.0%)、「まあそう思う」(45.3%)を合わせた63.3%が理解をしていると評価をしている。一方で、「あまりそう思わない」(21.5%)、「そう思わない」(12.8%)を合わせた34.3%が否定的な評価をしている。

母親に対しては、「そう思う」(25.4%)、「まあそう思う」(51.7%)を合わせた77.1%が理解をしていると評価をしている。一方で、「あまりそう思わない」(14.8%)、「そう思わない」(7.6%)を合わせた22.4%が否定的な評価をしている。

母親に対する評価の方が父親より高く、肯定的な評価をしている割合については、約14ポイントの差となっている。

図表 3 - 1 - 60 親の自分に対する理解度 (単数回答 n=1,010)



就学・男女別にみると、男子中学生は父親に対して評価が最も高く、全体と比較して約10ポイント高くなっている。

一方、他と比較して、女子高校生は父親に対して「そう思う」と肯定的な評価をしている人が少なく、「そう思わない」と否定的な評価をしている人が多くなっており、父親に対してやや厳しい評価をしている。また、女子中学生は母親に対して肯定的な評価をしている人が多い。

図表3-1-61 就学・男女別 親の自分に対する理解度（単数回答）

就学・男女別	合計	Q21-1-1. 自分を理解している：父					Q21-1-2. 自分を理解している：母				
		そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	不明	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	不明
全体	1010	182	458	217	129	24	257	522	149	77	5
	100.0	18.0	45.3	21.5	12.8	2.4	25.4	51.7	14.8	7.6	0.5
中学生・男性	250	57	125	46	20	2	60	136	41	12	1
	100.0	22.8	50.0	18.4	8.0	0.8	24.0	54.4	16.4	4.8	0.4
中学生・女性	254	43	113	60	34	4	78	126	32	18	0
	100.0	16.9	44.5	23.6	13.4	1.6	30.7	49.6	12.6	7.1	0.0
高校生・男性	250	52	98	62	29	9	58	127	36	26	3
	100.0	20.8	39.2	24.8	11.6	3.6	23.2	50.8	14.4	10.4	1.2
高校生・女性	256	30	122	49	46	9	61	133	40	21	1
	100.0	11.7	47.7	19.1	18.0	3.5	23.8	52.0	15.6	8.2	0.4

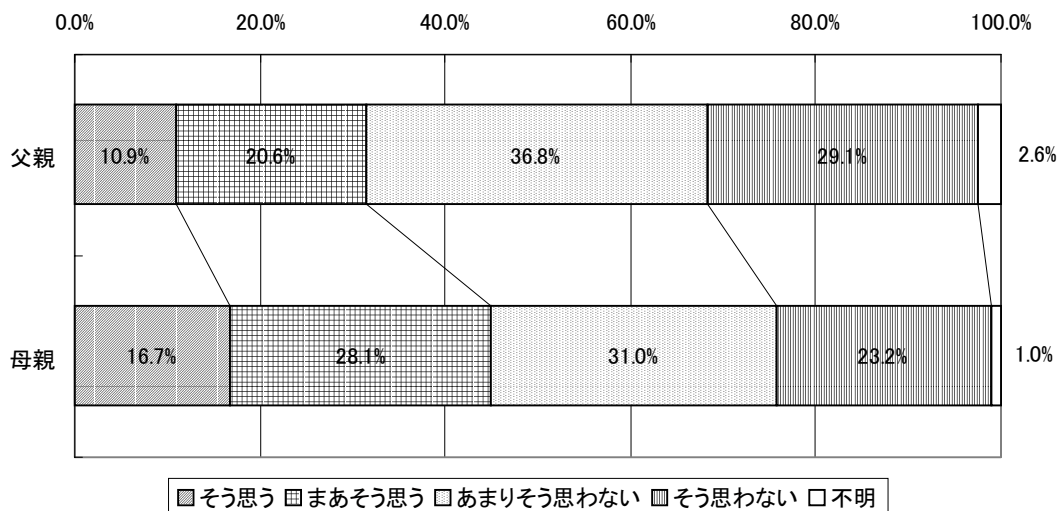
②自分に対する過保護度

自分に対して過保護かどうかについてみると、父親については「そう思う」（10.9%）、「まあそう思う」（20.6%）を合わせた、31.5%が過保護ぎみと感じている。一方、「あまりそう思わない」（36.8%）、「そう思わない」（29.1%）を合わせた65.9%は過保護とは感じていない。

母親については、「そう思う」（16.7%）、「まあそう思う」（28.1%）を合わせた44.8%が過保護ぎみと感じている。一方、「あまりそう思わない」（31.0%）、「そう思わない」（23.2%）を合わせた54.2%は過保護とは感じていない。

母親の方が父親に比べて過保護と感じている人が多く、過保護ぎみと考えている割合は約13ポイント高くなっている。

図表 3 - 1 - 62 自分に対する過保護度（単数回答 n=1,010）



就学・男女別にみると、他と比較して、中学生と男子高校生は、父親に対して「自分に対して過保護」だと思わない割合が高い一方、女子高校生は父親に対して「そう思う」（16.4%）と否定的な評価をしている人が多く、父親に対してやや厳しい評価をしている。

また、母親に対しては、中学生と比較して、高校生がやや否定的な評価している。

図表 3 - 1 - 63 就学・男女別 自分に対する親の過保護度（単数回答）

就学・男女別	合計	Q21-2-1. 自分に対して過保護：父					Q21-2-2. 自分に対して過保護：母				
		そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	不明	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	不明
全体	1010	110	208	372	294	26	169	284	313	234	10
	100.0	10.9	20.6	36.8	29.1	2.6	16.7	28.1	31.0	23.2	1.0
中学生・男性	250	19	52	110	66	3	35	77	87	48	3
	100.0	7.6	20.8	44.0	26.4	1.2	14.0	30.8	34.8	19.2	1.2
中学生・女性	254	28	54	87	81	4	35	65	83	70	1
	100.0	11.0	21.3	34.3	31.9	1.6	13.8	25.6	32.7	27.6	0.4
高校生・男性	250	21	47	93	80	9	48	71	67	61	3
	100.0	8.4	18.8	37.2	32.0	3.6	19.2	28.4	26.8	24.4	1.2
高校生・女性	256	42	55	82	67	10	51	71	76	55	3
	100.0	16.4	21.5	32.0	26.2	3.9	19.9	27.7	29.7	21.5	1.2

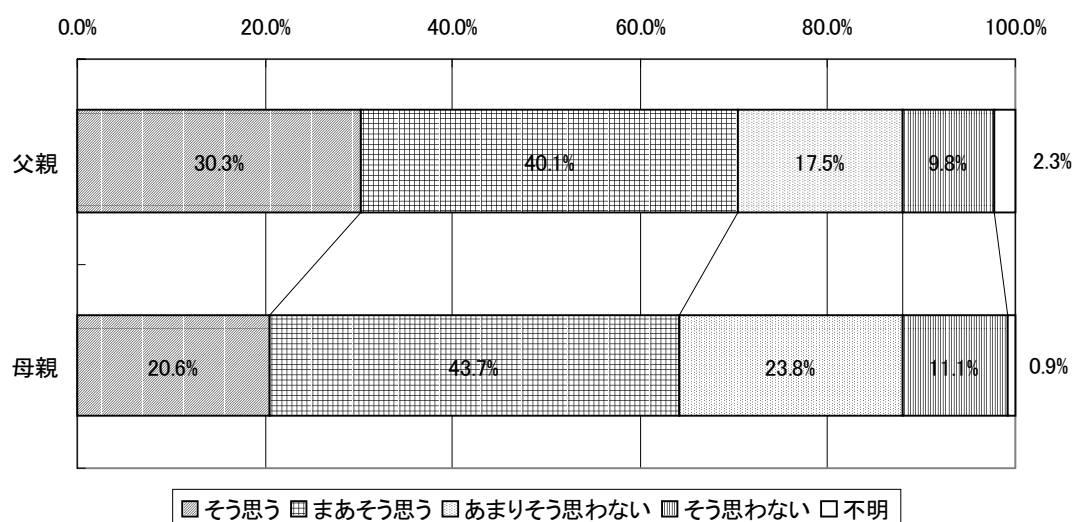
③親が仕事や家事にやりがいを感じているか

親が仕事や家事にやりがいを感じているかについてみると、父親については「そう思う」(30.3%)、「まあそう思う」(40.1%)を合わせた70.4%が仕事や家事にやりがいを感じていると考えている。一方で、「あまりそう思わない」(17.5%)、「そう思わない」(9.8%)を合わせた27.3%があまりやりがいを感じていないと考えている。

母親については、「そう思う」(20.6%)、「まあそう思う」(43.7%)を合わせた64.3%が仕事や家事にやりがいを感じていると考えている。一方で、「あまりそう思わない」(23.3%)、「そう思わない」(11.1%)を合わせた34.3%があまりやりがいを感じていないと考えている。

仕事や家事にやりがいを感じていると考えている割合は父親に対しての方が多く、特に「そう思う」では約10ポイントの差がみられる。

図表3-1-64 親が仕事や家事にやりがいを感じているか(単数回答 n=1,010)



就学・男女別にみると、他と比較して、やや男性の方が父親に対しては、評価が高くなっている。一方、母親に対しては、他と比較して、女子中学生で「そう思う」(26.4%)と肯定的な評価をしている人が多い。

図表 3 - 1 - 65 就学・男女別 親が仕事や家事にやりがいを感じているかについて
(単数回答)

就学・男女別	合計	Q21-3-1. 仕事等やりがいを持つ：父					Q21-3-2. 仕事等やりがいを持つ：母				
		そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	不明	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	不明
全体	1010	306	405	177	99	23	208	441	240	112	9
	100.0	30.3	40.1	17.5	9.8	2.3	20.6	43.7	23.8	11.1	0.9
中学生・男性	250	74	105	48	20	3	51	112	58	24	5
	100.0	29.6	42.0	19.2	8.0	1.2	20.4	44.8	23.2	9.6	2.0
中学生・女性	254	81	98	45	26	4	67	109	47	30	1
	100.0	31.9	38.6	17.7	10.2	1.6	26.4	42.9	18.5	11.8	0.4
高校生・男性	250	75	105	37	26	7	43	110	65	30	2
	100.0	30.0	42.0	14.8	10.4	2.8	17.2	44.0	26.0	12.0	0.8
高校生・女性	256	76	97	47	27	9	47	110	70	28	1
	100.0	29.7	37.9	18.4	10.5	3.5	18.4	43.0	27.3	10.9	0.4

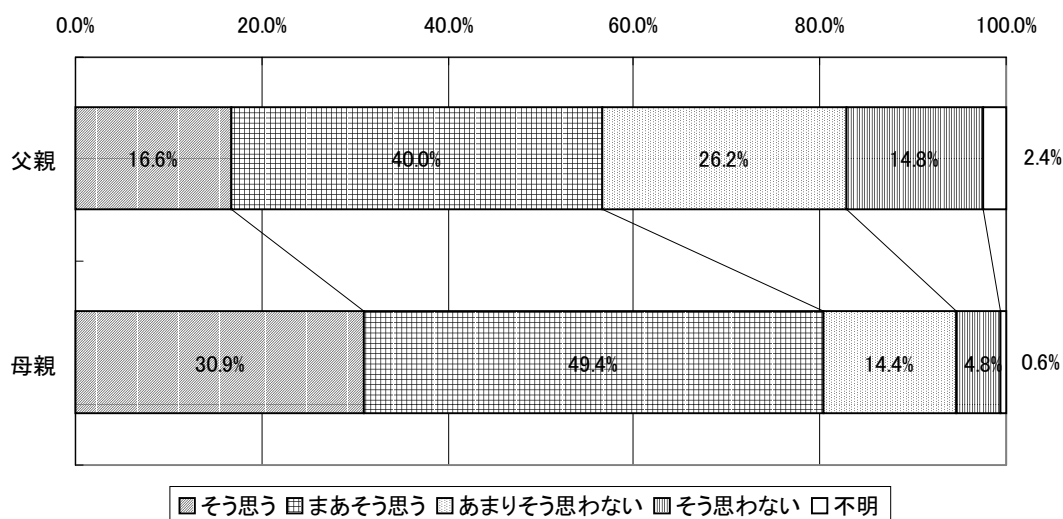
④親の子育てに対する熱心さ

親が子育てに対して熱心かどうかについてみると、父親については「そう思う」(16.6%)、「まあそう思う」(40.0%)を合わせた56.6%が熱心な方であると評価している。一方で、「あまりそう思わない」(26.2%)、「そう思わない」(14.8%)を合わせた41.0%が、あまり熱心でないと評価しており、他の評価に比べてかなり厳しい評価となっている。

母親では「そう思う」(30.9%)、「まあそう思う」(49.4%)を合わせた80.3%が熱心な方であると評価している。一方で、「あまりそう思わない」(14.4%)、「そう思わない」(4.8%)を合わせた19.2%が、あまり熱心でないと評価しており、他の評価と比較して、この項目は母親への評価が最も高くなっている。

母親の方が父親に比べて熱心であるといった評価が高く、特に「そう思う」の割合では約14ポイントの差がみられ、父親と母親の評価が分かれている。

図表 3 - 1 - 66 親の子育てに対する熱心さ (単数回答 n=1,010)



就学・男女別にみると、男子中学生は父親に対してやや評価が高くなっているが、女子高校生は父親に対して否定的な評価をしている人が多くなっている。

母親に対しては、大きな違いはみられない。

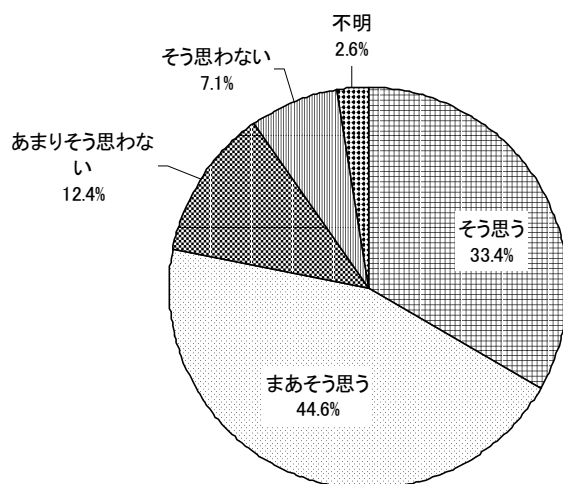
図表 3 - 1 - 67 就学・男女別 親の子育てに対する熱心さ（単数回答）

就学・男女別	合計	Q21-4-1. 子育てに熱心：父					Q21-4-2. 子育てに熱心：母				
		そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	不明	そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	不明
全体	1010	168	404	265	149	24	312	499	145	48	6
	100.0	16.6	40.0	26.2	14.8	2.4	30.9	49.4	14.4	4.8	0.6
中学生・男性	250	39	124	62	23	2	72	129	38	9	2
	100.0	15.6	49.6	24.8	9.2	0.8	28.8	51.6	15.2	3.6	0.8
中学生・女性	254	39	103	65	41	6	80	127	33	13	1
	100.0	15.4	40.6	25.6	16.1	2.4	31.5	50.0	13.0	5.1	0.4
高校生・男性	250	42	97	63	41	7	76	125	32	15	2
	100.0	16.8	38.8	25.2	16.4	2.8	30.4	50.0	12.8	6.0	0.8
高校生・女性	256	48	80	75	44	9	84	118	42	11	1
	100.0	18.8	31.3	29.3	17.2	3.5	32.8	46.1	16.4	4.3	0.4

⑤両親の仲

両親は仲がよいかどうかをみると、「そう思う」(33.4%)、「まあそう思う」(44.6%)を合わせた78.0%が仲がよいと感じている。一方、「あまりそうは思わない」(12.4%)、「そう思わない」(7.1%)を合わせた19.5%は、仲がよくないと感じている。

図表 3 - 1 - 68 両親の仲 (単数回答 n=1,010)



就学・男女別にみると、他と比較して、女子中学生で「そう思う」(38.6%)と回答した人が多くっており、評価が高い。

図表 3 - 1 - 69 就学・男女別 両親の仲 (単数回答)

就学・男女別	合計	Q21-5. 両親は仲がよい				
		そう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	不明
全体	1010	337	450	125	72	26
	100.0	33.4	44.6	12.4	7.1	2.6
中学生・男性	250	84	121	26	15	4
	100.0	33.6	48.4	10.4	6.0	1.6
中学生・女性	254	98	103	30	16	7
	100.0	38.6	40.6	11.8	6.3	2.8
高校生・男性	250	74	118	33	18	7
	100.0	29.6	47.2	13.2	7.2	2.8
高校生・女性	256	81	108	36	23	8
	100.0	31.6	42.2	14.1	9.0	3.1

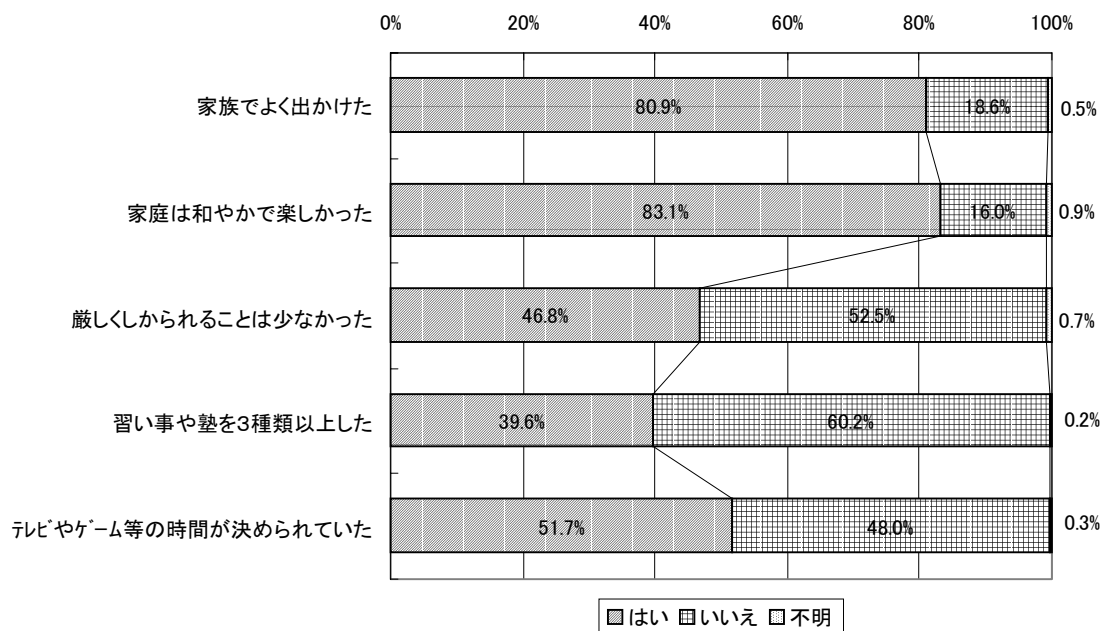
(5) 小学校時の家庭の状況

小学校のころの家庭の状況についてみると、「家族でよく出かけた」、「家庭は和やかで楽しかった」については、80%以上の人が「はい」と回答している。

「習い事や塾を3種類以上した」では「いいえ」が60.2%となっている。

「テレビやゲーム等の時間が決められていた」や「厳しくしかられることは少なかった」では「はい」と「いいえ」がほぼ同割合となっている。

図表 3 - 1 - 70 小学校時の家庭の状況（単数回答 n=1,010）



就学・男女別にみると、男性と比較して、女性で「習い事や塾を3種類以上した」人が多くなっている。

「テレビやゲーム等の時間が決められていた」については、男性の方が女性と比較して「はい」が多くなっている。

「家庭は和やかで楽しかった」については、他と比較して、女子高校生で「はい」とする人が多くなっている。

図表 3 - 1 - 71 就学・男女別 小学校時、家族でよく出かけたか（単数回答）

就学・男女別	合計	Q22-1. 家族でよく出かけた		
		はい	いいえ	不明
全体	1010	817	188	5
	100.0	80.9	18.6	0.5
中学生・男性	250	199	49	2
	100.0	79.6	19.6	0.8
中学生・女性	254	207	45	2
	100.0	81.5	17.7	0.8
高校生・男性	250	198	52	0
	100.0	79.2	20.8	0.0
高校生・女性	256	213	42	1
	100.0	83.2	16.4	0.4

図表 3 - 1 - 72 就学・男女別 小学校時、習い事や塾を3種類以上していたか（単数回答）

就学・男女別	合計	Q22-2. 習い事や塾を3種類以上していた		
		はい	いいえ	不明
全体	1010	400	608	2
	100.0	39.6	60.2	0.2
中学生・男性	250	69	179	2
	100.0	27.6	71.6	0.8
中学生・女性	254	124	130	0
	100.0	48.8	51.2	0.0
高校生・男性	250	85	165	0
	100.0	34.0	66.0	0.0
高校生・女性	256	122	134	0
	100.0	47.7	52.3	0.0

図表 3 - 1 - 73 就学・男女別 小学校時、テレビやゲーム等の時間が決められていたか
(単数回答)

就学・男女別	合計	Q22-3. テレビやゲーム等の時間が決められていた		
		はい	いいえ	不明
全体	1010	522	485	3
	100.0	51.7	48.0	0.3
中学生・男性	250	136	112	2
	100.0	54.4	44.8	0.8
中学生・女性	254	110	143	1
	100.0	43.3	56.3	0.4
高校生・男性	250	152	98	0
	100.0	60.8	39.2	0.0
高校生・女性	256	124	132	0
	100.0	48.4	51.6	0.0

図表 3 - 1 - 74 就学・男女別 小学校時、厳しく怒られることは少なかったか
(単数回答)

就学・男女別	合計	Q22-4. 厳しく怒られることは少なかった		
		はい	いいえ	不明
全体	1010	473	530	7
	100.0	46.8	52.5	0.7
中学生・男性	250	125	123	2
	100.0	50.0	49.2	0.8
中学生・女性	254	117	134	3
	100.0	46.1	52.8	1.2
高校生・男性	250	107	143	0
	100.0	42.8	57.2	0.0
高校生・女性	256	124	130	2
	100.0	48.4	50.8	0.8

図表 3 - 1 - 75 就学・男女別 小学校時、家庭は和やかで楽しかったか (単数回答)

就学・男女別	合計	Q22-5. 家庭は和やかで楽しかった		
		はい	いいえ	不明
全体	1010	839	162	9
	100.0	83.1	16.0	0.9
中学生・男性	250	209	38	3
	100.0	83.6	15.2	1.2
中学生・女性	254	207	44	3
	100.0	81.5	17.3	1.2
高校生・男性	250	197	53	0
	100.0	78.8	21.2	0.0
高校生・女性	256	226	27	3
	100.0	88.3	10.5	1.2

5. 親や生活に対する満足度

父親、母親、学校生活、友達関係の満足度についてみると、母親、友達関係の方が、父親、学校生活よりも、満足としている人の割合が高くなっている。

図表 3 - 1 - 76 親や生活に対する満足度（単数回答 n=1,010）

